

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次報告書 第1作業部会報告(自然科学的根拠)に関する 緊急報告会

地球温暖化について最新の分析や予測をまとめる国連の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の第1作業部会会合が9月23日、スウェーデン・ストックホルムで開催され、温暖化の原因が人間の活動である可能性を「90%以上」とした2007年の第4次報告書の6年ぶり改定となる第5次報告書が9月27日に公表されました。

そこで、私たちはこの報告書をどう理解し、そこで明らかとなった科学的な知見が何を意味するのか、温暖化対策のなかでこの知見をどう活かしていくべきか、この報告者作成にかかわった我が国の専門家をお招きし、報告会を開催することとしました。ぜひ、ご参加下さいませようお願い申し上げます。

開催日時 **11月7日(木) 13:30~15:30**

会場 **TKP 田町カンファレンスセンター ホール2A**

〒108-0014 東京都港区芝 5-29-14 田町日エビル 2F

**入場
無料**
事前申込制



■JR『田町駅』三田口(西口) 徒歩3分

■都営地下鉄浅草線・三田線『三田駅』A1又はA3出口 徒歩3分

講師



ひろき
近藤 洋輝氏

IPCC WG1 国内支援事務局長

一般財団法人リモート・センシング技術センター
ソリューション事業部 特任首席研究員

主催 **一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット
(全国地球温暖化防止活動推進センター)**

緊急報告会プログラム

報告

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第5次報告書 第1作業部会報告 (自然科学的根拠) と我が国研究者が果たした役割 — どう理解し、どう活かしていくべきか —

近藤 洋輝 氏 ひろき
IPCC WG1 国内支援事務局長
一般財団法人リモート・センシング技術センター
ソリューション事業部 特任首席研究員

講師プロフィール:

IPCC (気候変動に関する政府間パネル)WG1 (第1作業部会) 国内支援事務局長、文部科学省参与 (気候変動関連会議対応)、このほか国内の関係委員会委員を務める。独立行政法人海洋研究開発機構 IPCC地球環境予測プロジェクト特任上席研究員。財団法人地球科学技術総合推進機構地球温暖化研究開発センター長。気象研究所気候研究部長 (平成14年退官) 2010年度「わが国における地球温暖化研究の推進への貢献」が評価され、日本気象学会「藤原賞」を受賞。この賞は、気象学に関する調査、研究、総合報告、著述等により、日本の気象学および気象技術の向上に寄与した者に贈られる賞。

質疑応答・意見交換

参加申込方法

メール、ファックス、郵送で受付しております。
お席には限りがございますので、お早めにお申込みください。

メールでのお申込み ▶▶ 題名に「11/7 報告会参加申込」とご記入のうえ、本文に必要事項 (①氏名②所属③住所④TEL/FAX⑤この報告会で特に聞きたいことがありましたらご記入ください) を明記し、下記申込先アドレスに送信してください。受付次第いただいたメールに申込完了のメールを返信します。

申込先 E-mail center@jccca.org

FAX・郵送でのお申込み ▶ 下記参加申込書にご記入のうえ、そのままお送りください。

11/7 報告会 参加申込書

(ふりがな)			
氏名			
所属			
(ふりがな)			
住所	〒 □□□-□□□□		
TEL		FAX	
E-mail			
この報告会で特に聞きたいことがございましたらご記入ください。			

申込先 FAX 03-5280-8100

添書不要です。
このまま送信してください。

お問い合わせ先
参加申込先

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
〒101-0054 千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル4階
TEL 03-6273-7785 FAX 03-5280-8100
center@jccca.org

